

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民 現代社会	第2学年	2	高等学校 新現代社会 (帝国書院)	ニュービジョン現社 (浜島書店)
科目の概要と目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
現代社会の諸課題とそのとらえ方	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題 ・人工・資源・エネルギー問題 ・科学技術と生命問題 ・情報問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における様々な諸課題について理解し、条件・主張・背景などいろいろなもの見方・考え方があることをふまえて考察し、現代社会の課題に対してどのように対応していくかの判断力を高める。 		
現代社会と自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義 ・よく生きるとは 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯における青年期の意義を理解し、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深める。 		
現代の民主政治と民主社会の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・民主社会の原理と日本国憲法 ・日本の政治機構と政治参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深める。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深める。 ・日本国憲法の基本的原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解する。 ・我が国が国会を中心とする民主政治の仕組みをとっていること、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方、国会と内閣の関係について理解させるとともに、民主政治における権力分立の意義などについて、法の支配や基本的人権の保障と関連付けて、理解を深める。 		
現代の経済と国民福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・市場経済のしくみ ・豊かな社会の実現をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の変遷を学びながら、経済活動の役割を理解するとともに、現代の経済の課題を考察する。 ・豊かな社会の実現をめざすために、現代社会の諸課題(環境問題・労働問題・社会保障など)を学び、課題解決の方策を探る。 		
現代の国際社会と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済の動向と貧困の解消 ・国際政治の動向と平和の追求 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会の進展とともに国際経済が大きく変容してきていることを理解する。 ・地域紛争や人種・民族問題、環境問題をめぐる対立について触れるとともに、文化や宗教の背景の違いを越えて共生していく態度を育てる。 		